

今日をすて明日に生きる……現代に甦える鮮烈の青春!!



PAUL NEWMAN
ROBERT REDFORD AND
KATHARINE ROSS IN
BUTCH CASSIDY AND
THE SUNDANCE KID

ポール・ニューマン*ロバート・レッドフォード*キャサリン・ロス

明日に向けて撃て!

パナビジョン ■ カラー作品

アカデミー4部門受賞 ■ 脚本賞 ■ 撮影賞 ■ 音楽賞 ■ 主題歌賞 (雨にぬれても)



監督ジョージ・ロイ・ヒル*音楽バート・バカラック (サウンドトラック盤・A&Mレコード)
 (サントラ・マスタース・オブ・セプター・レコード)

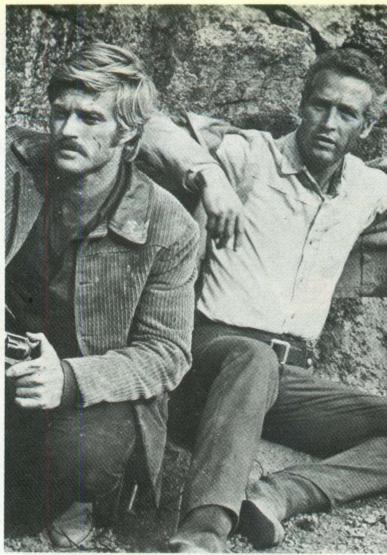
★スタッフ

製作総指揮……………ポール・モナッシュ
 製作……………ジョン・フォアマン
 監督……………ジョージ・ロイ・ヒル
 脚本……………ウィリアム・ゴールドマン
 撮影……………コンラッド・ホール
 音楽……………バート・バカラック
 主題歌《サントラ盤/A & M/セプター・レコード》

★キャスト

ブッチ・キャシティ……………ポール・ニューマン
 サンダンス・キッド……………ロバート・レッドフォード
 エッタ・ブレス……………キャサリン・ロス
 ブレッドソー保安官……………ジェフ・コーリー
 パーシー・ギャリス……………ストロサー・マーチン
 ハーベイ・ローガン……………テッド・キャシティ

《上映時間 1時間52分》



●ヤングの熱狂的ナリクエストが

ついにこの名作をよびもどした!

最近ある劇場がヤングを対象にリバイバル映画のリクエストを集めた結果、二位を大きくはなして「明日に向かって撃て!」が圧倒的な数字で第一位になったそうだ。

この映画は昨年、アメリカ本国でもリバイバルされ「エクスシスト」「ステイキング」などの新作と並んで興収ベストテンに入る大ヒットになった。従来の記録ではアメリカ映画史上興収ベスト15位にランクされていたが、リバイバルでベストテン入りは確実になった。「サウンド・オブ・ミュージック」「風と共に去りぬ」「ボセイドン・アドベンチャー」「卒業」などのヒット作と並んで、アメリカ映画史に残る名作のなかの名作としてこの作品はあらためてファンはもちろん評論家の間でも再評価されている。

●人気NO.3大スターの最高の魅力!

アカデミー賞受賞に輝く永遠の名作!

「スクリーン」の今年の人気投票で、アラン・ドロンのブルース・リーをおさえて人気No.1に選ばれたポール・ニューマン。いまや人気も演技も絶対調で円熟した男の魅力だ。そして三位のロバート・レッドフォードはチームを作ってますます人気上昇中。女優三位のキャサリン・ロス——三大スターの魅力が最高に発揮されたのはこの作品だった。

「明日に向かって撃て!」は眼のこえた批評家が多いイギリスでまづ高く評価された。71年度イギリス・アカデミーの作品賞、監督賞、主演男優賞(レッドフォード)、主演女優賞(ロス)、脚本、撮影、編集、録音賞を総なめにした。アメリカのアカデミー賞では脚本、撮影、作曲、主題歌賞の四部門を受賞したが、この作品で大ヒットを飛ばしたジョージ・ロイ・ヒル監督、ニューマン・レッドフォードが昨年「ステイキング」で名トリオを組み、またまたヒットを飛ばしたのは記憶に新しい。「ステイキング」はアカデミーの作品・監督賞などを受けたが、ロイ・ヒルは「ステイキング」より「明日に向かって撃て!」で受賞すべきだったという批評が当時、アメリカの新聞に目だつた。

●驚異のロング・ヒット!

名曲・雨にぬれても、が奏する青春の永遠の詩!

「明日に向かって撃て!」は一八九〇年代、アメリカ西部から南米にかけて悪名をとどろかせた実在のアウトロー、ブッチとサンダンスの生涯を映画化したものだが、これは西部劇というより、いつの時代にも変らない永遠の青春像をとらえた映画であり、そこが従来の西部劇にない新しさだった。西部劇といえど八割は男性観客だったが、

この映画は女性観客層にも大いに支持され、男女の比率が五対五といわれた。

ことにニューマン演じるブッチとロスが演じたエッタが自転車に乗って戯れる場面に流れた「バート・バカラックの『雨にぬれても』」が心にしみわたる名曲でこの名場面は、ファンの胸から永遠に消え去らない。レッドフォード演じたサンダンスの恋人だった女教師エッタが二人の男を同時に愛してしまふ母性愛にも近いその大きな愛——これが女性観客をも魅了したこの映画の重要なポイントでロスの清純美はいつも魅了もファンの間で語り草となっている。彼女の新作「潮騒」もまた魅力にあふれている。そしてブッチとサンダンスの男の友情と、悲痛な終末こそこの映画がヤングを熱狂させたところだ。

●壮絶なアクション!華麗な映像美!

新感覚のフライングでとらえられた青春の悲しい終末!

ブッチは目先がきくが、けして人を殺さない頭脳派の男。ハンサムで早射ちで人を殺すこともなんとも思わないサンダンスは行動派。性格のちがう二人が、仲間を集めてユニオン・パシフィック鉄道を襲って列車強盗をし、保安官に追いつめられる。ブッチは泳げないサンダンスを助けて溪流にとびこみ、二人でエッタを頼って行くがアメリカを脱出し、エッタをつれて南米ボリビア行きを決意した。ニューヨーク見物としゃれこんだ三人は、ボリビアに男の夢と理想を求めたが、ボリビアは貧しい国でとても夢をかなえてくれる国ではなかった。二人は錫鉱山で労働者の給料はこびのガードマンになりカタギの仕事についたが、いつしかまた悪の道にもどっていった。エッタをアメリカに送りかえした二人は、アルパコ鉱山の給料袋を奪い宿屋の庭で食事をしてるところを宿の主人に密告され警官隊の一斉射撃を受けてみじかい波らんの生涯を閉じた。

撮影のコンラッド・ホールがセピア・トーンを主調にした陶然たる色彩美も見ものだが、バカラックの新感覚の音楽と躍動する映像がみごとなシンフォニーとなって奏でるリスミカルな映画の流れは絶妙のもの——そしてストップ・モーションで終るラスト・シーンには青春への挽歌が悲痛な詩となって胸にやきつく。

これは西部劇の傑作であるとともに「卒業」「俺たちに明日はない」と並んでアメリカ・ニュー・シネマが生んだ不滅の青春映画だった。

「明日に向かって撃て!」についてFOXが贈る

キャサリン・ロス最新の愛の秀作!

潮しおさい騒 近日ロードショー

近日待望のロードショー
 東京労音特別鑑賞会 労音会員780円 (一般1200円のところ)

有楽町 **スバル座** (212) 2826

有楽町駅前(そごう側)有楽町ビル内